

# おうみネット

2014

# 91

Autumn

Ohmi Net | ●発行日 / 2014年10月1日 ●発行所 / 公益財団法人 淡海文化振興財団

## ① 特集★見る、聞く、話す、伝える 地域の魅力を発見し 地域を活かした文化をつくる ～自分のまちの魅力に気づいていますか～

持続可能で豊かな地域社会づくりー地域資源を生かした地域活性化の可能性ー

成安造形大学附属近江学研究所研究員 加藤 賢治さん

## ⑤ おうみの市民と企業が ともに Grow

成年後見制度を通じて障がい者支援と高齢化社会を支える

Grow 02

### 生活支援

NPO 法人  
成年後見センター  
もだま

自主的に自分のペースで勉強できるよう子どもたちを支援

Grow 01

### 青少年支援

NPO 法人  
Links

社会貢献する「世間よし」企業紹介

Grow 04

### 世間よし

有限会社池田牧場

滋賀の名産、セタシジミを復活させるために

Grow 03

### 環境保全

NPO 法人  
瀬田川未来塾

# Grow



Ohmi Network Center

## 淡海ネットワークセンター

公益財団法人 淡海文化振興財団

# 地域の魅力を発見し 地域を活かした文化をつくる 自分のまちの魅力に気づいていますか？

生活の場である地元への見方は固定化され、「自分のまちには何も無い」と思っている人が多い。しかし一方では、見方を変え、様々な視点から地域を見つめ直すことで魅力に気づき、地域住民が誇りに思える文化をつくり、まちづくりに活かしている地域があります。

今回は、新たな地域文化を活かしたまちづくりについて考えます。

## 持続可能で豊かな地域社会づくり — 地域資源を生かした地域活性化の可能性 —

成安造形大学附属近江学研究所研究員 加藤 賢治さん

### 滋

賀県内では、大津の中心市街地や湖西、湖北、湖東、湖南のそれぞれ独自の歴史文化を持つ地域で、その資源を利用した取り組みが行われています。各地域における活動主体は、市町村等の自治体、NPO法人等の各種団体、企業、町内会、市民サークルなど様々です。しかし、すべての活動が成功しているとは言えない現状があり、試行錯誤が繰り返されています。

### 地

域活性化に不可欠な「多くの地域住民の意識を一つにまとめ、自らのやる気を起

こさせる」ということは容易ではありません。また、ある程度の資

金的な裏付けが無ければ継続的な活性化活動はあり得ません。

そこで、今回のテーマとした地域資源を生かした持続可能な地域活性化を実現させるための条件を以下にまとめてみました。

- ①まず自分たちが生活する地域の歴史・文化的資源を探り、その価値を地域住民で共有する。
- ②大きな利益を求めるのではなく、一定の地域において潤う持続可能な経済活動の仕組みをつくりあげる。

## 芸術文化イベント紹介

### 国際芸術祭 BIWAKO ビエンナーレ2014 泡沫 - UTAKATA



【開催期間】  
9月13日(土)～11月9日(日)  
【会場】  
近江八幡市  
【問合せ】  
NPO法人エナジーフィールド  
TEL: 0748-26-4398

### 大津まちなか食と灯りの祭2014

【開催期間】  
9月16日(火)～12月25日(水)  
【メイン会場】  
JR大津駅前、なぎさのテラス  
【問合せ】  
大津市都市再生課  
TEL: 077-528-2501



具体的には活性化の活動資金を少しずつでも継続的に確保できる方法を考える。③地域の人々の意識を高揚させ、人と人をつなぎ、粘り強く事を前に進めることができ、人材を発掘する。また育成する。そして、活動をリードする人も、裏から支える人も、参加する人も、みんなが、人の繋がりや積極的な行動、盛り上がりをお大切にする。

### 地

域活性化の活動に王道は無く、それぞれの場合にあった取り組みが必要とされま

### ●プロフィール● 加藤賢治(かとう けんじ)さん

1967年、京都市生まれ。1991年立命館大学産業社会学部卒業後、高等学校地歴科教員を経て、1997年成安造形大学事務局勤務。事務局勤務の傍ら宗教民俗を学ぶため大学院へ進学。2004年佛教大学大学院文学研究科仏教文化専攻修了、2011年滋賀県立大学大学院人間文化学研究所地域文化専攻博士後期課程単位取得満期退学。2008年から成安造形大学附属近江学研究所研究員となり近江(滋賀県)をフィールドに宗教民俗の研究を続けている。主な論文、著書に『古式祭祀に見るコミュニティとそこに展開されるコミュニケーション～大津市今堅田一丁目の愛宕講と地蔵講を中心に～』(2014年成安造形大学附属近江学研究所紀要3号)、『空(くう)』(かけの階段 彫刻家富樫実の世界』(2004年サンライズ出版)他



▲「文化ビジネス塾」で訪れた湖北のリゾートホテルでは、歴史文化を生かしながら地域を大切に、雇用創出や地域活性化に取り組む企業の姿勢を学びました。

な地域活性化が実現するのではないのでしょうか。

## 筆

者がスタッフとして関わる任意団体「文化・経済フォーラム滋賀」では、「文化で滋賀を元気に！」を合い言葉として様々な取り組みを行っています。フォーラムでは企業や団体が単純に利益の追求のみを目的とするのではなく、その立地する地域に根付き、その地域の歴史文化などの地域資源を生かして、地域住民の活性化につながるような活動を行うことを「文化ビジネス」と定義づけ、その事例を紹介し、意見交換会を行っています。7月には現地研修として湖北長浜にて5回

目の会を行いました。このような地域活性化の理想的な活動の事例紹介はその問題点の共有ということも含めて大変有意義であると考えています。

## 幸

い滋賀県内には、自然・歴史・文化・伝統産業・民俗行事等、各地に活性化の起爆剤となる豊富な地域資源があります。既述の通り、各地域で行われる活動はそれぞれその地域に合った独自のものが展開されると思いますが、それらの活動の輪が琵琶湖をぐるりと囲んでつなげれば、みんなが笑顔で明るい地域社会が実現し滋賀県の未来の豊かな暮らしの姿が見えてくると確信しています。

### Essay. I 市民活動をサポート！

## 出る杭は伸ばす

NPO法人を立ち上げたり企業を起こす際には必ずリスクがあります。しかし、旺盛な「チャレンジ精神」によりそのリスクを克服してこそ輝かしい未来・喜びが得られるはずです。

近江商人の遺伝子を引継ぐ我々の中に、最近この「チャレンジ精神」が少し希薄になっているのではないのでしょうか。

直近の総務省調査によれば、なんと当県の起業家数は100人当たり0.76人しかおらず、全国第43位と大変低位となっているのです。

この原因は色々考えられますが、ひとつに我々に潜む「大企業や役所を第一とする安定優先志向」、「他人とは違いたくない目立ちたくないという横並び志向」が悪く影響し、「チャレンジ精神」を削いでしまっているのではないのでしょうか。

人口減少・グローバル時代を迎え、先ず我々一人一人がこの悪しき「志向」を打破する必要があります。出る杭は打たずに伸ばそうではありませんか。



淡海ネットワークセンター  
理事長 山田 督(やまだ おさむ)

## Event

### 余呉まるごと里山芸術村2014



【開催期間】  
10月17日(金)~26日(日)10時~16時  
※17日:16時開始 26日:10時~15時

【メイン会場】  
旧余呉小学校北(長浜市余呉町下余呉)

【問合せ】  
(一財)湖北水源の郷づくり  
TEL: 0749-86-8037

### 市民ミュージカル 「青い目の人形~甲南のメリーさん~」

【開催期間】  
11月29日(土)18時開演  
30日(日)14時開演

【会場】  
甲南情報交流センター・忍の里プラザ

【問合せ】  
NPO法人甲賀文化 輝き  
TEL: 0748-86-4158



地域の魅力を発見し、地域を活かした文化をつくる ● 事例紹介

1

長浜市

芸術を通しての  
地域活性化のムーブメント

長浜芸術版楽市楽座  
ART IN NAGAHAMA(略称A-IN)

一九八七年から長浜市(旧・長浜市)では、二日間の楽市、三六三日間の楽座で構成される「長浜芸術版楽市楽座 ART IN NAGAHAMA(以下、A-IN)」が始まりました。楽市は、全国から様々なジャンルの芸術家が集まり、作品を展示・即売する市民手作りの芸術版青空市です。一方楽座は、A-INに参加した芸術家の作品を市街地の商店の中間を通過して展示販売し、市民が芸術に触れる機会を増やすとともに、作家への支援を行います。

支援を行います。

A-INは、行政、経済団体、市民など多様な関係者が集うまちづくりの勉強会の参加者の中から、「活気のなくなったまちを、芸



◀開催風景

術を通して元気にしたい」という思いから動き出し、市民のみで始め、市民の力で行政を動かしたという特徴をもつ、芸術を通しての地域活性化の運動です。



▲指先で表現する「チョークアート」体験

毎年二日間の楽市来場者は七万五千人を超え、閑散とした地域に人を呼び込み、にぎわいをつくり、地域に活気を取り戻しました。実行委員会には開催地商店街の関係者も入り、準備や当日のボランティアには地域住民も含め約二百名が参加しています。多彩な当事者が関わり動かしていることが、A-INが長年続いてきた理

2

高島市

地域資源を  
地域の魅力に変え発信する

風と土の交響 in 琵琶湖高島

毎年冬の高島では、来訪者(風の人)、移住した作家(風の人)、地域の作家(土の人)、地域住民(土の人)が暮らしや作品を通じて交流する「風と土の交響 in 琵琶湖高島」(以下、風と土)が行われます。高島市内に点在する暮らしの場でもある自宅や工房を巡り、作品を通して作家と来訪者が出会い、交流するイベントです。

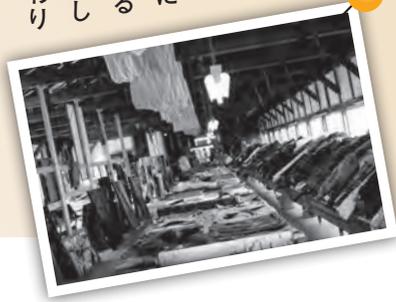
高島市は昔から芸術家の移住が多く、内外の人の出入りが多いという特徴があります。この特徴を地域資源と捉え、高島で暮らすことの魅力を発信することを目的に始まりました。

主旨は「暮らしの中の手仕事」。作家だけでなく暮らしの一つである農家や古民家再生実践者も出展しています。芸術家や農家などの暮らしを見せることで、高島が心

豊かに暮らせる地域であることを参加者に伝えていきます。

運営委員や約百名のサポートスタッフの多くは移住者や市外の市民ですが、市内への周知を目指し声かけを心がけるようになった昨年から、地元住民の参加も増えていきます。そして運営委員会では、誰もが主体的に、自由な発想で意見を出し合い、魅力的な企画が生まれています。

「今後、趣旨や目的が変わっても、この催しをやりたい!」と思ってくれる人たちが主体性と責任を持ち、当事者たち(市民)によって継続できる催しであって欲しい。継続とは変わり



◀染色家・山本玄匠さんの工房

まとめ

地域への見方を少し変えるだけで、何の変哲もない歴史・文化・習慣が、実はここにしかない魅力だと気付きます。

滋賀県には、自然、歴史、伝統など多彩な魅力が豊富にあり、発見した魅力を活かした新しい地域文化をつくり広めることで、地域全体を元気にしている地域があります。

一度、自分たちの地域を見つめ直してみてください。

Essay. II

おうみ未来塾リレーエッセイ

まだまだ「学び」の途中です

7期生 河村 好子(かわむら よしこ)  
グループ：逢味(おうみ)おむすび隊

2007年3月卒塾して7年が過ぎました。

様々な方との出会いや繋がりを広げた学びの2年間でした。地域社会の課題に取り組む活動は十分にはできていませんが、中高生のジュニアリーダー育成の仕事に関わって5年になります。今、地域の大人が子供たちの「生きる力」を育み心身ともに健康な子どもを守り育てることが大事であると言われています。

ジュニアリーダーたちの活躍の場を企画・提供することにより、住んでいる地域に誇りを持ち、今後のまちづくりに関わるができる若者が育つのではないかと思います。地域と学校、家庭が連携し地域の大人が積極的に関われるよう環境を整え、地域の輪が広がる仲間づくり。仕事を通して少しでも前進できれば未来塾で学んだことが活かせるのかなと思う日々です。



由だそうです。

「開催から二十八年目を迎え、暮らしの中によりやく芸術が根付き、AINも、新しい長浜の文化として広く知ってもらえるようになりましたが、今後も広域化した長浜のまちを元気にしてくれる、芸術の香りを広げる活動にしたい」と、事務局の山崎俊男さんは語ってくださいました。

※二〇一〇年に虎姫町・湖北町・伊香郡高月町・木之本町・余呉町・西浅井町が旧長浜市に編入

DATA

長浜芸術版楽市楽座

ART IN NAGAHAMA (略称AIN)

主催●長浜芸術版楽市楽座 ART IN NAGAHAMA 実行委員会  
問合せ先●NPO法人ギャラリーシティ楽座  
TEL : 0749-65-0393 E-mail : ain@mx.bw.dream.jp

[2014年開催]

10月4日(土) 10時～17時  
5日(日) 10時～16時



▲陶芸家・前川俊一さんの工房

「風と土の交響」は多くの意見を受入れ、話し合い、時の流れを読んでは変化しながら、住民自身の意志によって、高島の魅力を発信するイベントを指しています。

続けることだと思います。」と事務局の西川唱子さんは語ってくださいました。

DATA

風と土の交響プロジェクトチーム

総合窓口(たかしま市民協働交流センター)

TEL : 0740-20-5758  
E-mail : webmaster@tkkc.takashima-shiga.jp  
●オープンアトリエ：高島市全域

[2014年開催]

前半：11月28日(金)～30日(日)  
後半：12月5日(金)～7日(日)

# ともに Grow

県内で活躍するNPOや  
社会貢献企業を  
レポート!

まもり ささえ 共に歩む  
成年後見制度を通じて支援します



▲施設の運動会(職員も参加)

名前の由来となった「もだま」は世界最大級のマメ科の植物で、海流に乗って移動し、分布を広げることができるのです。その口マンとたぐましさにあやかっ

て、名付けたとのこと。伊藤事務局長と園田所長からお話を伺いました。もだまは、二〇〇五年十一月に有志(障害者支援施設の職員家族等)が集まり、民間だけの力で立ち上げたという特徴があります。二〇〇七年にNPO

## Grow 01 市民 ● 青少年支援



▲LL 教室で勉強に励む子どもたち

### NPO 法人 Links

代表●柴田雅美(しばた まさみ)  
設立●2008年  
会員●12名(賛助会員含む)  
連絡先●TEL: 090-2061-5135

## 子どもたちも サポーターも学ぶ場



▲一人ひとりにあった方法で、しっかりとサポート!

人から始まる地域づくり活動を行っている特定非営利活動法人 Links さん。今回は「L」(Learning Links)教室と呼ばれる学び育ち教室をご紹介します。この教室は二〇一三年に始まり、大学生や地域の大人がサポーターとなり、経済的に十分な学習環境に恵まれなかったり、塾になじめない等の子どもたちの学びの場づくりを行っています。毎週月曜日の夜、約十五名の中学・高校生が集まり、二時間勉強をしています。このLL教室では校則のようなルールや時間割はつくらず、子どもたちが自分のペースで自主的に勉強をしている姿が見られます。代表の柴田さんが子どもたちに関わる上で最も大事にしていることは「子どもたちのすべてを受け入れること」と話してくれました。言葉で言うのは簡単ですが、実際にはとても難しいことだと思えます。

塾ではないこの教室は、子どもたちにとってもサポーターにとっても居心地のよい場所であることが必要なのだと言っていました。サポーターの大学生は、「子どもたちから教えてもらうことが多いです。今後については、子どもたちとのよりよい関係づくりをしたい」というような活動をもっと知ってもらいたい」と力強く伝えてくれました。子どもたちからは「Lは楽しい!」とびつぎりの笑顔をもらい、子どもたちが生き生きと暮らせる社会にするために、私たちにできることがたくさんあるのではないかと考え直すきっかけになりました。LL教室では、子どもを応援したいサポーターさんを募集中のこと。また、学びたい子どもたちの受入れにも少し余裕があるそうです。ぜひお問合せさせていただきます。 (おうみネットサポーター 坂口 紗姫)

## NPO 法人 瀬田川未来塾

代表●竺 文彦(じく ふみひこ)  
設立●2003年3月  
会員●27名(賛助会員含む)  
連絡先●  
TEL / FAX : 077-533-1475  
E-mail : info@seta-mirai.jp

滋賀県が誇る名産品、セタシジミ。そんなセタシジミを復活させようと活動を始めたのが、「NPO 法人瀬田川未来塾」です。一般に、あまり知られていないかもしれませんが、こうした貝類はなんと水質浄化作用をもっているのです! こうした貝類を利用しながら琵琶湖の環境を守るため、二〇〇三



▲地元の名産品に親しむセタシジミ祭の様子

## 社会貢献する 「世間よし」企業紹介

### 有限会社池田牧場

滋賀県東近江市和南町2191  
TEL : 0748-27-1600 FAX : 0748-27-1626  
URL : <http://www.ikeboku.com/>

## すべてに本気に取り組む その本気が支援を広げ 消費者に想いが届く

搾った生乳は企業メーカーへ全て納品していた17年前に、自家生乳の加工・販売に取り組み、6次産業化※に成功し、地元永源寺のブランド化に貢献している有限会社池田牧場を訪問し、専務の池田喜久子さんにお話を伺いました。

当時、自家の搾りたて生乳を頂き物のお礼として渡していたあるお店の社長から、「こんなに美味しい生乳なのに、なんで自分で加工しないの」と疑問を投げかけられたことがきっかけでした。自家加工について考えるうちに、生産調整で捨てられる生乳がある現状を消費者は知らないのではないか、またその原因は、自分たち生産者と消費者との遠い距離だと考え、距離を近づける手段として自家加工を始めることを決意しました。

6次産業化という言葉のない時代、法律や流通など山積する問題を池田さんは一つひとつ乗り越えてきました。「出てくる問題すべてに本気で取り組んできたからこそ、困難に直面するたびに、助け人が現れて支えてくれました。人材に恵まれ、お客さんや周りの方々の支援が何より大きな力になりました」と、池田さんは言います。

事業が軌道に乗ってくると「欲」も出てきます。池田さんも、百貨店に卸すようになったことがあったそうです。でも、その度に自分自身を農業者に引き戻し、常に農業者として突き進んできたことが、今の成功へと導いたそうです。

「商品」に、生産者の想いがどれだけ込められているのか、消費者は敏感に感じている。想いが届いているからこそ、消費者は商品を買ってくれる」と、付加価値となる想いを込めることの重要性を、池田さんは語られました。

※6次産業化：生産、加工、流通（販売）の一体化  
（淡海ネットワークセンター 牧野利花）



▲搾りたて牛乳を75%以上使用したイタリアンジェラート

## NPO法人 成年後見センターもだま

代表●泉 孝英(いずみ たかてる)  
設立●2007年2月(2007年7月法人化)  
会員●102名 連絡先●事務局長：伊藤 健一  
住所：〒525-0027 草津市野村8丁目5番19号  
TEL：077-598-0246 FAX：077-598-0888  
E-mail：modama.npo@triton.ocn.ne.jp  
URL：http://www.modama.info



▲地域への出前講座

から「成年後見制度利用促進事業」を湖南四市から受託し、「四市運営委員会」や「運営適正化委員会」の助言や支援を得て、運営面での基盤も強化してきました。

現在職員数八名ですが、その活動内容は、相談活動(権利擁護・生活相談、成年後見制度)・啓発活動(講演会、出前講座など)・法人後見活動と多分野にまたがり、高齢化の進展する中で急増する需要にこたえる多忙な活動に挑戦されています。この五年間で、年間の相談延べ件数が二九〇件から二二七件、法人後見受任数が十二人から六十三人と急増しています。

## Grow 03 市民 ● 環境保全

### 琵琶湖の環境は 地域で守る！



▲琵琶湖をきれいに！清掃活動中の様子

永続的にこれからもずっと琵琶湖の環境を守り続け、河川を維持管理し続けていくためには、「地域で活動を担当していくことが重要である」これが、瀬田川未来塾の信念です。

琵琶湖を守っていく活動をこれからも続けていくために、琵琶湖の環境をきれいに！実際に現場に行くことで、琵琶湖の現状もよくわかるそうです。琵琶湖に赴くことで今まで、知らなかった琵琶湖の一面が見えてきます。皆さんもぜひ参加してみてください。

年の設立以来、様々な活動を通じて尽力されてきました。現在は、①水産資源の生息環境の回復と保全、②セタシジミ及び魚類の増殖活動、③瀬田川の環境と景観の保全を図る活動、④水環境に関する調査・研究を中心とした活動が中心です。

（おうみネットサポーター 石田 みずき）

**寄付** 未来ファンドおうみ「ナカザワNEOフレンドシップ基金」開設



本年7月31日、株式会社ナカザワ様から、1,000,000円のご寄付をいただきました。

今回のご寄付により新しく未来ファンドおうみ「ナカザワNEOフレンドシップ基金」を開設することになりました。当基金は、多文化共生の地域づくりが滋賀県下に一層展開されていくことを目的としています。

**お知らせ** 未来ファンドおうみ「びわ湖の日基金」にご寄付いただきました。



本年8月1日、有限会社豆藤様より、昨年に引き続き300,000円のご寄付をいただきました。



本年7月10日、里山再生をテーマに事業活動を展開されている近江通商株式会社様より、「びわ湖の日基金」へ100,000円のご寄付をいただきました。

今回のご寄付は、「びわ湖の日基金」に組み入れ、琵琶湖と琵琶湖につながる河川や森林などの保全に関わる市民団体などによる実践活動や調査活動などの支援を行っていただくための元本としていきます。

**編集後記**

今回が2回目の取材でした！LL教室では子どもたちの笑顔だけではなく、サポーターさんを含む関係者の笑顔もあふれていました。塾とはまた違った学校以外での学び場がもっともっと広がって、子どもたちの笑顔が地域で見られるようになったら、とても素敵ですね！まぢぐるみで子どもを見守る、そんなまちで暮らしたいなと思います！！  
(おうみネットサポーター 坂口 紗姫)

Eテレのコマーシャルで「知らないことを知ってワクワクする」といってますが、事務局から成年後見センター取材の勧誘をいただき、ラッキーと飛びついた。湖南4市の取り組み現場での生の声を聞き滋賀全域の状況を含め、ホームページでの事前調査の成果も活用でき、楽しい充実した取材となり感謝です。  
(おうみネットサポーター 岡崎 一郎)

今回、初取材に向かわせていただきました。うまく原稿にできたか心配ですが、たくさんのお話をお聞きすることができたので、自分自身も勉強になりました。NPOとひとくくりにしても、皆さんたくさんの個性をお持ちだなととてもわくわくします。そんなわくわくをこれからも見つけていきたいです！  
(おうみネットサポーター 石田 みずき)

**おうみネット 91**

●2014 秋号●



Ohmi Network Center  
**淡海ネットワークセンター**  
公益財団法人 淡海文化振興財団

淡海ネットワークセンターは、県内の市民活動、NPOをサポート・ネットワークしています。

- 〒520-0801 大津市におの浜1-1-20 ピアザ淡海2階
- TEL 077-524-8440
- FAX 077-524-8442
- <http://www.ohmi-net.com>
- E-mail: office@ohmi-net.com
- 開館時間 / 9:00 ~ 17:00
- 休館日 / 月曜日・祝日

●情報交流紙「おうみネット」は次のところに配布しています。

県内図書館、琵琶湖博物館、男女共同参画センター、文化産業交流会館、陶芸の森、びわ湖ホール、滋賀県国際協会、県内大学、県内NPO法人、県内市民活動センター、草津市立まちづくりセンター、県社協ボランティアセンター、大津市生涯学習センター、栗東芸術文化会館さくら、滋賀銀行、京都信用金庫、関西アーバン銀行、滋賀県信用組合、公民館、市役所、各地域環境総合事務所、県情報室など

**日本政策金融公庫国民生活事業はみなさまの身近な国の金融機関です。**

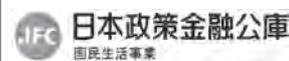
- ・NPO法人のみなさまもご利用いただけます。
- ・新たに事業を始める方にもご利用いただけます。
- ・経営に役立つ情報をご用意しています。

新たに事業を始められる方へ  
**新規開業ローン**

中小企業・小規模事業のみなさまへ  
**国の事業ローン**

お客様の教育資金を必要とされる方へ  
**国の教育ローン**

お問い合わせは



大津支店 国民生活事業 TEL077-524-1656  
彦根支店 国民生活事業 TEL0749-24-0201

お気軽にご相談ください。

日本公庫

**おたがいさまがつながり、活きる。**

未来ファンド **個人の気持ち、企業のCSR**  
**おうみ** 様々な“志”を地域に支える市民活動へ、しっかりつなぎます。

寄付をお考えの方、詳しい内容を知りたい方は、**淡海ネットワークセンター**にお気軽にお問い合わせください。

**市民活動・人・企業との出会い広がる情報交流誌「おうみネット」掲載広告募集中!**

- ★発行部数10,000部
- ★県内外の配布先約2,000カ所
- ★1枠(横9.3cm×縦3.5cm)15,000円

詳細は、当センターまでお問い合わせください!

